

# にかほ市公共施設等総合管理計画（概要版）

令和5年3月改訂

## 公共施設等総合管理計画とは

### 1. 計画の目的

インフラを含む公共施設は老朽化が進み、その対策が深刻な課題となっている。社会の大きな転換期、過渡期に生きる現世代の我々には、課題や負担を先送りせずに、将来世代へ地域を引き渡す責任がある。

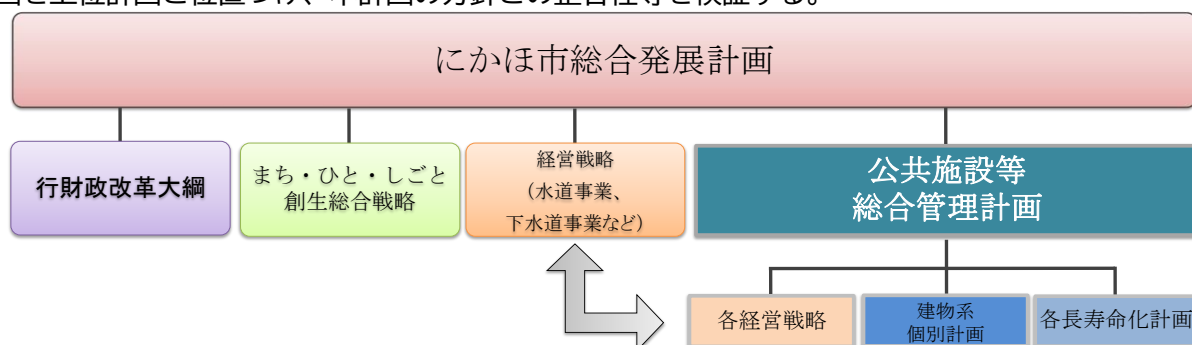
本計画の主旨は、次の1～3を示すことである。

1. 本市の公共施設の現状、実態をハード・ソフト両面から可能な限り正確に整理
2. 将来発生する改修・更新（建替え）の費用を予測
3. 財政破綻が生じない継続可能な公共施設の整備、維持、更新、廃止等の管理運営

計画策定と同時に、市民と問題意識や危機感を共有し、相互理解に努めたうえで、具体的な行動につなげていくことにも留意しなければならない。

### 2. 計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である「にかほ市総合発展計画」を下支えする計画であり、「行財政改革大綱」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などと連動して、各政策分野の中で公共施設に関わる取組みに対して横断的な指針を示すものである。既に策定されている「橋梁長寿命化修繕計画」などの公共施設計画は、本計画を上位計画と位置づけ、本計画の方針との整合性等を検証する。

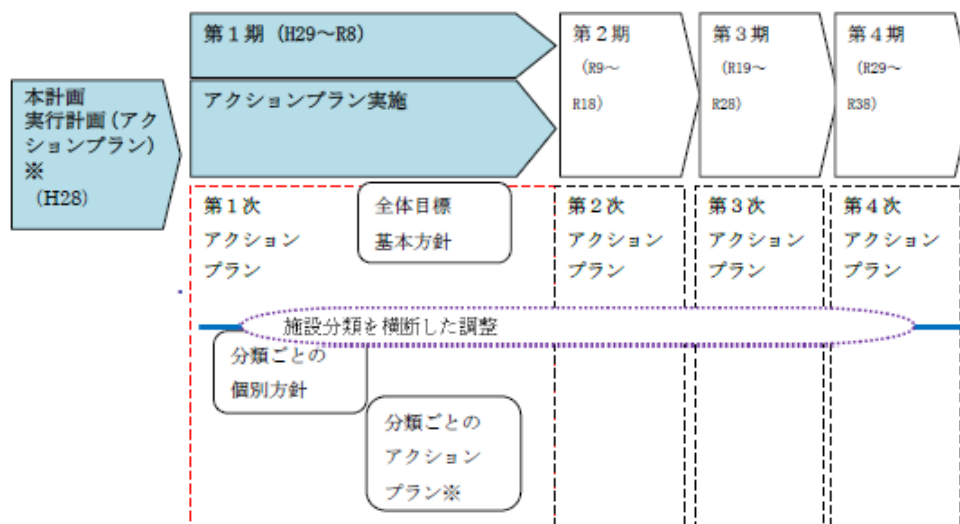


### 3. 計画の期間

本計画は平成29年度（2017）から令和38年度（2056）までの40年間の将来推計に基づき策定している。計画（実行）期間は、平成29年度（2017）から令和8年度（2026）までの10年間とする。

以後、進ちよく状況の管理と見直しを実施しながら、10年間ごとに第2期～第4期に分け、具体的な実行計画とする。

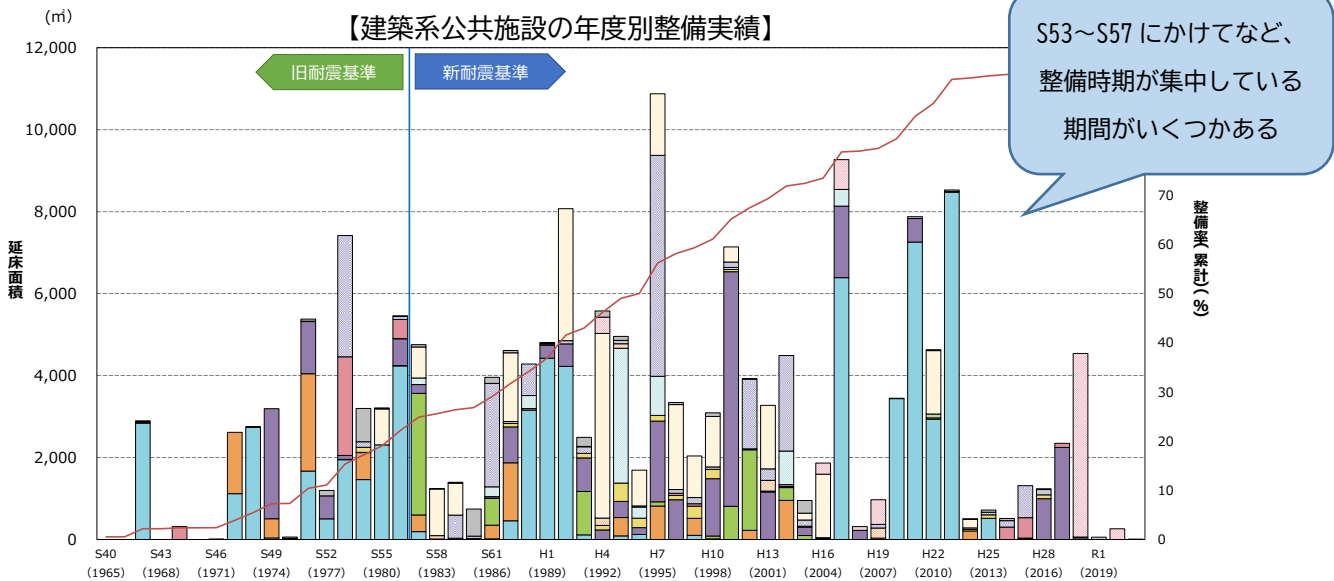
なお、本改訂は主に第1期前期時点での進ちよく状況を確認するものである。



# 現状と課題

## 1. 老朽化と更新（建替え）時期の集中

同時期に建設されたものは、ほぼ同時期に改修・更新時期を迎える。本市においても、今後、各施設の更新時期が集中して到来することが予想される。



## 2. 施設の転用・活用

学校統合による空き校舎や集約化・複合化等の施設再編による「まだ使える」施設など、これらを有効活用することが課題となる。学校閉校後の地域の拠点、地方創生の新たな取り組みなど、遊休施設の転用・活用案は、地域社会の方向性を新たに定めるものといえる。

## 3. 地域の課題や行政ニーズの変化

人口減少、少子高齢化、マイカー型社会の進行により、地域社会は大きく変化し、子育て世代への支援や高齢者福祉など行政ニーズも増加している。

また、本市は合併から10年が経過したものの、いまだ「旧地域間の垣根の存在」が指摘される。学校は旧町域内で統廃合され、機能が重複する施設も存在する。建物系の施設面においては、合併の効果がまだ十分に発現されていないといえる。

# 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

## 1. 建物系、土木系、企業会計等の施設

建物系施設は、可能な限り現状の機能を維持する方策を講じたうえで、施設面積を削減する。市民生活への影響が直接的な、土木系施設（道路、橋りょう）、企業会計等施設（上水道、下水道）については、本計画では削減目標を設定しない。

## 2. 施設再編の検討事項

「本庁舎方式への転換」…市としての一体感と行政効率向上のため



「遊休施設の転用と利活用、解体」…新たな地域づくりと将来世代のため



行政サービスを低下させずに空き庁舎・校舎などに新たな機能を検討！

### 3. 再編への視点

#### (1) 地域の力を結集

施設情報を積極的に発信し、再編（転用・利活用）のアイデアを集める。

#### (2) 拠点機能の維持

学校統合による空き校舎（跡）は地区の拠点機能として配慮する。

#### (3) 施設と機能の分離

「建物の躯体を維持すること」と「機能（市民への効果）を維持すること」を分けて再編を検討する。

#### (4) 効率的な集約・複合化

集約化・複合化で機能を維持したまま効率的、効果的な施設配置を進める。

### 4. ユニバーサルデザイン化の推進方針

ユニバーサルデザインの考えに基づき、誰もが利用しやすい施設整備を目指す。誰もが使いやすいことを目指し、改修や建替え等を行う際には、ユニバーサルデザインの導入を推進する。

### 5. 脱炭素化の推進方針

公共施設の新築・改修時などには、断熱性の高い建材の利用や、高効率な設備システムを導入するなどのZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化を検討・推進し、省エネ性能向上を図る。

## 計画期間における市全体の具体的方針

### 1. 当初目標

令和 38 年度(2056 年度)までに建物系施設の総延床面積を  
策定当初時点の 181,815 m<sup>2</sup>から **30%削減**する。

今後の財源不足を補うためには後述の通り建物系施設の総延床面積で 40.3%削減が必要である。しかし行政サービスとのバランスから、現状の施設を過剰に削減せずに、行政ニーズと財源に見合った施設の総量見直しの目標として、当面は建物系施設の総延床面積を 30%削減する。

### 2. 当初目標設定の根拠

#### (1) 人口減少

平成 27 年度に策定した「にかほ市人口ビジョン」では 40 年後に、人口が平成 27 年よりも 29.3%減少すると推計している。

#### (2) 人口 1 人あたり公共施設延床面積

平成 27 年のにかほ市の人口 1 人あたりの公共施設延床面積は 6.92 m<sup>2</sup>であり、この数値は人口規模類似団体の平均値 5.55 m<sup>2</sup>の約 1.2 倍となり、24.7%相当が過剰である。

#### (3) 将来の更新費用と財源

建物系及び土木系公共施設（道路、橋りょう）の年あたり費用の不足分は約 5.6 億円。道路と橋りょうは削減対象としないので、財源不足を建物系施設の削減で解消することになると、40.3%削減が必要。

### 3. 建物系施設の維持管理方針

目標達成に向けて取り組む施策は以下の通り。

1. 施設総量の削減	(1) 集約・複合化の推進 (2) 解体、民間譲渡の検討
2. 施設の維持管理	(1) 改修、更新等に係る費用の平準化 (2) 点検、診断等の個別計画策定 (3) 民間活用の検討

## 策定時から令和2年度現在までの対応状況

### 1. 施設総量の比較

計画策定時点と令和2年度時点を比較すると以下の通り。建物系公共施設に着目すると242施設181,815㎡から223施設177,078㎡へと変化しており、5年間で約3%の縮減となる。

施設分類	平成27年度		令和2年度		差分			
	施設数	数量(㎡)	施設数	数量(㎡)	施設数	数量(㎡)		
建物系公共施設	学校教育系施設	12	63,073	11	53,677	-1	-9,396	
	市民文化系施設	20	11,627	12	10,297	-8	-1,330	
	社会教育系施設	8	8,704	8	8,704	0	0	
	スポーツ・レクリエーション系施設	33	24,085	37	29,511	4	5,426	
	公園	29	1,720	28	1,682	-1	-38	
	産業系施設	11	7,529	8	2,148	-3	-5,381	
	保健・福祉施設	11	8,290	10	7,143	-1	-1,147	
	医療施設	2	877	1	576	-1	-301	
	行政系施設	68	21,490	53	19,478	-15	-2,012	
	公営住宅	8	25,804	8	25,068	0	-736	
	衛生系施設	5	6,540	5	6,739	0	199	
	その他	35	2,079	42	12,055	7	9,976	
建物系合計	242	181,815	223	177,078	-19	-4,738		
土木系	道路	延長(m)	898,378	2,200	865,354	-80	-33,024	
		面積(㎡)	4,968,657		5,507,751		539,094	
土木系	橋梁	面積(㎡)	14,615	298	16,370	1	1,755	
			995(件)		1,571(件)		1,571(件)	
企業会計等施設	水道施設(上水・簡水)	1,600(件)		1,571(件)		1,571(件)		
	下水道：公共下水道施設	9	面積(㎡)	10,831	9	10,834	0	3
		-	延長(m)	133,299	-	139,546	-	6,247
	下水道：農業集落排水施設	15	面積(㎡)	4,734	15	4,734	0	0
		-	延長(m)	87,396	-	88,623	-	1,227
	下水道：小規模	3	面積(㎡)	689	3	689	0	0
-		延長(m)	2,051	-	2,051	-	0	
ガス施設	995(件)		令和2年度に民営化を実施		-995(件)			

### 2. 更新推計費用の比較

計画策定時点と個別施設計画(長寿命化計画など)を比較すると以下の通り。例として下水道の試算期間の違いによる差などもあるため、単純比較できない部分もあるが、個別施設計画に基づく費用試算(策定時からの実績値含む)では、概ね策定当時よりも費用削減が見込まれている。

施設分類	策定時点(億円)		個別施設計画手法(億円)		差分(億円)	
	40年間総額	年あたり平均	40年間総額	年あたり平均	40年間総額	年あたり平均
建物系公共施設	545.0	13.6	542.8	13.6	-2.2	0.0
道路	165.3	4.1	154.4	3.9	-10.9	-0.2
橋梁	48.5	1.2	12.9	0.3	-35.6	-0.9
上水道施設	92.8	2.3	163.3	4.1	70.5	1.8
下水道施設	346.6	9.1	20.7	0.5	-325.9	-8.6
ガス施設	53.2	1.3	0.0	0.0	-53.2	-1.3
合計	1,251.4	31.6	894.1	22.4	-357.3	-9.2

### 3. 実施済みの対策等

ガス事業の民営化の他、代表的なものとして旧小出・上郷・上浜小学校3校における法人への貸し付け、インキュベーション拠点、交流施設としての活用や、多目的集会施設などの譲渡、産業系施設の売却・解体、診療所の集約と学童保育施設への転用などを実施している。

今後も住みよい街を目指して、安心・安全に使用できる公共施設を維持できるよう、時勢なども鑑みながら各種対策の検討・実行を継続していく。

にかほ市総務課総務行革班

〒018-0192

秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地

TEL：0184-43-7507

URL：https://www.city.nikaho.akita.jp/

